

事業のたねへの市民の関わり度

事業のたね	1班	2班	3班	4班	5班	6班	市民がやれること
子ども達の集まる場所づくり 放課後、休みの日に自由に遊び学べる場所づくり							・企画、運営 ・場所、人の提供
小中学校で地域の歴史文化学習会 小城の歴史、文化を児童、生徒が楽しく学べる場							・講師（語り部）
歩道整備 小城のまちが安全に歩ける人にやさしい道づくり							・情報提供 ・ニーズ調査
防災マップづくり 地域の危険箇所や避難活動のやり方を示したマップ作成							・危険箇所の確認 ・情報提供
農業塾開催 これから農業を目指す人たちのための講座							・情報提供
子ども達への情報発信 スマホ、携帯等の正しい使い方を学び、考える研修、広報							
交通安全教室 学生への自転車マナーや高齢者への運転講習会							
プレーパーク整備 普段公園ではできないことも自由にやれる広場づくりと運営							・意見、会議への参加 ・運営 ・維持管理
空き家対策 増加する空き家の実態を調べ、有効活用を含めた管理を行う							・情報提供
4Rリーダー（環境サポーター）の育成 ごみ減量を率先する活動や組織を担っていくリーダーの育成							・実働部隊

市民の関わり度 大きいもの > > 小さいもの



小城市 まちづくり 市民会議 ニュース

No. 8 (最終回)

発行日：平成27年11月20日
発行者：まちづくり市民会議事務局

第8回 プログラム

- 1 開会・あいさつ
- 2 前回の振り返り
- 3 グループ分け
- 4 ワールドカフェ
- 5 閉会



みんなで考える **議会を見に行こう** **市民の話をよく聞く** **自分の意見を言う**

本音で話す **気づいたことを伝えていく** **能力を伸ばす（まちづくりの知識等）**

同じ思いの仲間づくり。自分の世界を広げていく。 **事務の効率化（減らす）**

「残す」まちづくり。小城市をなくさない。 **人材の育成** **話を聞いて他にも伝える**

できることは自分たちで。生活の場の気づきを知らせる。 **C S Oの組織化 地域の課題整理、認知症カフェ、通いの場** **対話する**

これからはシルバーボランティアが大切。自分もやります。健康は活動から。動くぞー。

自分たちが できること

決まり事をいい方へ変える **地域の歴史、文化の勉強会を通してのコミュニケーションづくり**

地域での対話を増やす **地域でやっている子どもたちの活動に市民を巻き込んでやっていきたい。**

色んな方と話す機会を増やす **橋渡し役（年代・分野）** **まず聞くことから始めたい**

現場で顔を合わせて対応したい **若者の意見を聞き、取り入れる** **市民との対話を大事に**

地域の中で協力できることは協力したい **対話する機会を増やしそこからヒントを見つける**

「お願い」する市民ではなく、「やらせてください」市民になりたい。 **小城市を知る**

自分の地域に今何が必要なのかを見て、考え、行動できたらいいな。 **同じ目線で**

昨年度から合計7回開催しました「小城市まちづくり市民会議」もとうとう最後となりました。11月11日（水）に第8回の「まちづくり市民会議」を開催し、参加者は、市民と職員あわせて32名でした。

まず、今までに考えてきた事業のたねを「一緒にやる」という協働の視点で、市民がやれることは何かと考えました。他市の事例紹介もあり、市民がやれることが意外と多いことに驚かされていたようでした。

それから、市民会議の感想や今後、自分たちができることをワールドカフェ方式で話しました。笑顔で、そして名残惜しそうに話されていたのが印象的でした。

今後は庁内で基本事業や事務事業など詳細についてまとめていく予定です。皆様方からいただいたたくさんの事業のたねを計画に盛り込み、9年間で花開くよう努力してまいります。

会議に参加していただいた皆様、
本当にありがとうございました。
（会議の進行：十時裕さん・辻桂子さん）

会議の感想

正直なところ、あまり良いとは思わなかった。現場を知らな過ぎる。

目標管理が小城市には欠けている。管理職がなぜ参加していないのか。給料の高い人が一番仕事すべき。

市の流れを勉強させていただいた。1人の市民として市との協力体制を勉強する機会を設けてもらったことに感謝。

自分が思っていたことと市民の方々の考え方が違っていた。もっと視野を広く持つことが大切と思った。

これから自分にできることは？

市民の一人として自分たちの過ごしやすいまちづくりに参加できたらいいなと思いました。気付いた人が動く！

事業のたねが咲くのは何年後か。私にできることは何か。

一緒に活動すれば市民協働で様々な問題を解決していける。

せっかくできた計画を充分実行して欲しい。自分の意見が生かされることを楽しみにしている。

自分の意見が行政に生かされたらと思いい、毎回来ていました。実行して欲しい。

若い職員の方と話し合ったことは大変興味深かったです。皆さん控えめでしたが、これからの困難な時代を乗り越えるためにとても期待したい。

市民会議で話し合ったアイデアが生かされて、多くの市民が積極的に色々な事業に参加して欲しい。

互いにギャップがあってビックリ。

市民も若い人がもっと参加すればもっと違った意見が出たと思う。

市民と直接意見を交わすことで新しい発想が生まれる場だった。小城市を大切に市民の声が聞けた。

自分の考えをまとめ、表現することの難しさを痛感した。老人会の抱える問題点が浮き彫りになった。

一緒に活動すれば市民協働で様々な問題を解決していける。

せっかくできた計画を充分実行して欲しい。自分の意見が生かされることを楽しみにしている。

自分の意見が行政に生かされたらと思いい、毎回来ていました。実行して欲しい。

若い職員の方と話し合ったことは大変興味深かったです。皆さん控えめでしたが、これからの困難な時代を乗り越えるためにとても期待したい。

市民会議で話し合ったアイデアが生かされて、多くの市民が積極的に色々な事業に参加して欲しい。

トップの覚悟はあるのか？

「まあこんなもんか」じゃ発展しない。

7回の会議内容がちゃんとマップになっていくのが不思議な気がします。

色々な活動をされている人がいた。

課題・意見

感じたこと

幅広く色々な意見が聞けてよかった。

ここに来なかったら話もしないような方とたくさんお話ができて、色々な話を聞いてとても楽しかった。ママの世界はとても狭かったんだなあ。

自分が思いつかないアイデアや考えを聞くことができてよかった。

市民の方の意見を直接聞いて良かった。

話しやすい雰囲気意見などを言いやすかった。

小城市を大切に想い、より良くしていきたいと熱い思いを抱いている市民の方がたくさんいらっしやることを嬉しく感じました。

1つのテーマでも色々な角度からの意見を聞いて勉強になりました。

色々な方が集まり、話をしてみても様々な考えや自分が知らない知識や情報、体験等を聞いてとても楽しかった。

楽しく参加できました。

職員と市民とのギャップが小さくなった。

若い職員と話し合ったり、活動できてよかった。

職員ももっと勉強が必要。

世界や視野が広がった。

知らないことを知ることができた。

考え方が柔軟になった。

気づき

一緒にやる！



年齢層が固まる。

立場の殻がとれていない。

集まる人のひろがりがない。

未来を考える際、10代・20代の意見を反映できる仕組みづくり

市民の方の参加者に若い方が少ない。

年齢層が固まる。

実際に動く人が特定の人に限られてくる。若い市民の参加が少ない。

一般の女性の参加が少ない。

参加者の広がり

場づくり

市民と行政が話し合う機会と場づくり

市民会議の後に続く、話し合いの場がない

対話する機会
CSOの組織化
(主体はコミュニティ)

老若男女すべての意見を集約できる場の設定(個別でも可)

方向性

正しい方向性の確立。

行政と市民の目線を同じにする。

マスタープランにビジョンが見えない。
(都市の性格、位置づけ)
どんな小城市を目指すのが不明。

市民と行政の双方が危機意識を持つ。人、物、地域のことをもっと知るべき。

個々人のモチベーションやる気を出す
あきらめ感の打破

会議の熱が来ていない人に伝わるのか。来ればわかるが来るまでのエネルギーが。

会議の課題

場の提供

参加しやすい交流(意見交換)の場の提供

若い世代が声をあげられる場所づくり・しかけづくり

更なる世代間交流の機会をつくる

市民と行政が話せる場をつくる

地域に向いて意見を聞く。市民の声を聞く場

対話の場を増やす

対話

行政と市民との対話

建前ではダメ。本音で語ろう

意見のある人は小城市の財産!!
その方たちの助言を活かす。

輪を広げる

想いを伝えていく

市民協働

わたしたちのまちは、わたしたちで

市民としての自分の意見を持つ。そして人の意見をしっかりと聞く

やる気がある人を集める
計画の実行部隊の育成(人材養成)
市民のやる気・市のやる気

対話の場を増やす→意識を変える

若者の参加意識を高める

目的意識の統一

意識の改革

市民の声を行政にいかす(トップダウン)

若者が参加できるような工夫が必要

より多くの人が参加できるチャンスをつくる。決定権のある人も参加させる。

市民が気軽に来れる市役所づくり

円卓会議(市民・行政・委員会)
市民勉強会

やる気の見えるトップ。期待感のある小城。若者の意見を聞け!

市民が参加しやすい、参加したくなるようなメリット(エサ)をつくる

未来を見据えた計画づくり

関係性の持続

市民が動き、行政を使う

自治会連合会の組織化(コミュニティスクール) 子育て放課後児童クラブ

今後の取組